

資料室



[HOME](#) | [資料室](#) | [労働組合](#) | [組織活動](#) | [フランクフルト宣言（民主社会主義の目的と任務）](#) ③ [経済的民主主義](#)

[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[組織活動](#)[組織運営と法律](#)[労働安全衛生](#)[経営対策活動](#)[教育・宣伝活動](#)[労働時間をめぐる諸問題](#)[教育活動](#)[選挙活動](#)[組合組織（公務員）](#)[教育カリキュラム](#)[▶ キーワード検索はこちら](#)

フランクフルト宣言（民主社会主義の目的と任務） ③ 経済的民主主義

2. 経済的民主主義

1. 社会主義は資本主義を改め、私利私欲の考慮よりも公共の利益が優先されるような制度を採るよう求める。社会主義の経済政策の第一目標は、完全雇用、生産向上、生活水準向上、社会保障、所得、財産の公正な分配である。
2. 上記の目的を達成するためには、生産は国民全体の利益に即して計画化されねばならない。この計画化のためには、少数者への経済力の集中は排されねばならない。この計画化には経済に対する民主的で効果的な管理が必要である。それゆえ民主社会主義は、資本主義的計画化とも、いかなる全体主義的計画化とも全く異なる立場に立つ。なぜなら、どちらの計画化も生産に対する公共的管理を含んでおらず、また生産物の公正な分配をも保証していないからである。
3. 社会主義的計画化は種々の方法によって実施される。公有の範囲と計画化の方式は、個々の国々の構造に即して決められなければならない。
4. 産業の公有は、現存する私的企業の国有化、公的企業の創出、消費者や生産者の協同組合などの形態をとりうる。これらの多様な形態の公営企業は、それ自体が目的なのではない。それは社会の経済生活と福祉を規定づける基礎的産業・サービスを管理する手段なのであり、非能率的な産業を合理化したり、私的独占やカルテルが人々を搾取するのを防ぐ。
5. 社会主義的計画化は全ての生産手段の公有化を求めるわけではない。それは、農業、手工業、小売業、中小企業など、重要な産業部門での私的所有の存在と両立するものである。ただ国家は、私的所有者がその権力を悪用するのを防がねばならない。国家は全体的な計画の枠内で私的所有者が生産と福祉の増進に貢献しようよう援助できるし、またそうすべきである。
6. 労働組合、生産者団体、消費者団体は民主社会の不可欠な構成要素である。これらは中央官僚の道具となったり、買収的組織となってはならない。かかる経済的諸集団は経済政策の作成に関与できねばならない。しかし、その際、議会の有する憲法上の特権を損なうことがあってはならない。
7. 社会主義的計画化とは、経済的決定がすべて政府や中央機関の手に委ねられることを意味しはしない。経済力は、それが計画化の目的に反しないかぎり、分散化されねばならない。
8. 市民はすべて、各団体を通じ、また個人の自発的活動により生産の過程に参加し、それによって公的、私的官僚制の増大を防止しなければならない。産業経営への労働者の民主的な参加は保障されねばならない。
9. 民主社会主義は経済的、社会的安定と繁栄の基礎の上に、個人の自由を発展させることを目指すものである。

3. 社会的民主主義と文化の進歩

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

[>> 一覧へ戻る](#)

